

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理研究	2	3年6組

使用教科書	副教材
『高校倫理』(実教出版社)	『テオリア最新倫理資料集二訂版』(第一学習社)

1. 学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいたか。	取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解させることができたか。	学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができたか。	政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることが出来たか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法	
1	4	第1編 第2章 人間としての自覚 第3節 仏教	<ul style="list-style-type: none"> 古代インド思想から連なり、仏教その他の宗教が生まれたことや、アジア地域に通じる思考の基盤となる思想を学習する。 仏教の無常観・人生を苦として捉える世界観と、日本人としての生き方の接点を関連付けて考察していきたい。 仏教思想を日本人がどのように変容していったかを理解させる。 	定期試験 授業態度による	
	5	第4節 儒教	<ul style="list-style-type: none"> 中国思想の展開とその広がりについて学ぶ。 中国先達達の生き方・考え方を手掛かりに、自分の人生への関心を高めてゆく。 		
		第3章 第3節 近世日本の思想	<ul style="list-style-type: none"> 2年次の既習事項を踏まえて、封建社会の思想として受容されてきた、儒教、朱子学、陽明学、国学について学び、当時の社会にどのように利用されていたかを理解する。 幕末には洋学の影響も見られたことを理解する。 		
	6	第4節 西洋思想の受容と展開	<ul style="list-style-type: none"> 啓蒙思想家の台頭で、いわゆる文明開化の方向へ日本が導かれ、自由民権運動への多大な影響を残したことを理解する。 明治末から昭和にかけて、独創的な思想や学問が形成された。西洋思想の上に東洋思想を導入した独自の思想や、民俗学などの新しい学問分野など多岐にわたる思想を学ぶ。また、満州事変を契機とした国家主義の影響の強まりや、社会主義・自由主義的思想を学ぶ。これらを通じて、自己の進むべき道について考察できる思考力を養いたい。 		
	7				
	2	9			
		10			
11					
12					
	1				
	2				
	3				

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。